

1 事業情報

水道事業評価(令和3年度)

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化	施 策	6-2 組織能力の向上	事 業	6-2-1 適正な組織・職員配置
----------	----	------	-----------	-----	-------------	-----	------------------

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。							
事業目的	事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業と併せ、組織全体の価値提供水準を向上させます。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・社会情勢が変化する中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和元年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。							
期間	令和3年4月 ～ 令和4年3月							
予算額 決算額	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	0	0	0	0	0	0	
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	0			0			
	人件費	237			237			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	0	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率			
進捗状況	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行いました。 ・令和3年4月～7月までの職員の時間外勤務について、令和元年度の同時期と比較し、約3.4%減少していることを把握しました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的・機動的な事業運営を行いました。令和3年度の職員の時間外勤務について、令和元年度と比較し、約26.1%削減となりました。			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度C～Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R1	R2	R3	R4
指標名	時間外勤務の実施時間の削減	単位	%	目標値	H29年度比5%削減	H30年度比5%削減	R1年度比5%削減	
算出式・根拠				実績値	H29年度比0.01%削減	H30年度比29.5%削減	R1年度比26.1%削減	
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	人員配置や組織改正を検討する際には、併せて業務全体の見直しを行い、さらに職員の時間外勤務を削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を目指します。	現状維持で継続